

(別表)

評価基準

満点100点

評価項目	評価基準	配点(点)	得点(点)
1. 総合的な評価		10	
業務の目的等の理解度	・展覧会の趣旨を理解し、訴求ポイントを的確、適切に表現しており、実施方針は明確であるか。	3	
方法の妥当性・独創性	・手法は明確で、無理がなく、目的に沿っているか。 ・伝える情報の優先順位、重要度が明確で、目的に沿っているか。 ・仕様書で求める内容について全て提案されているか。 ・仕様書に示した内容以外の独自の提案があるか。	4	
計画の妥当性・効率性	・事業成果の達成のために効果的かつ具体的で実現可能なスケジュールを提案できているか。	3	
2. 実施・運営体制及び業務遂行能力に対する評価		35	
総合的な評価	・会場運営の体制が無理なく適切であり、来館者へ快適な鑑賞環境を提供できるものであると認められるか。 ・人員の確保や体制は十分と思われるか。 ・来館者へ適切に対応できるよう、十分な教育をスタッフへ成し得る計画になっているか。	15	
組織としての実施能力	・事業者の社内スタッフ機構図から、本業務が遂行可能な人員の確保がなされており、かつ効果的な人員体制であると認められるか。 ・業務体制や窓口の連絡は明確か。	10	
実績	・過去に同様の業務を実施した経験を有しているか。	5	
経費の妥当性	・見積額の内訳は妥当か。	5	
3. 造作計画に対する評価		10	
企画内容の実効性	・作品及び観覧者の安全のため適切な措置を設けており、安全な施工がなされると見做しうるか。 ・造作実績や計画は展示作品や作家の魅力を増進させるものであるか。 ・作家や作品の品位を損なわず、その魅力を表現しえる展示方法を提案しているか。 ・統一感や調和のとれた魅力的な色調やデザインを提案しているか。	10	
4. 広報計画に対する評価		45	
企画内容の整合性・創造性	・展覧会コンセプトを十分に理解しているか。 ・これまでにない来館者への興味関心を惹起する工夫があるか。 ・作家や作品の品位を損なわず、魅力を表現しているか。	15	
広報計画の戦略性	・展覧会の趣旨を理解し、ターゲットに合った来館者層に対する広報の工夫があるか。 ・ターゲットの傾向を十分に分析し、実効的な広報計画を提案しているか。 ・戦略的な広報について複数の提案があるか。 ・上記以外に観覧者増に資する広報の提案があるか。	20	
内容の品質	・視覚伝達に優れ、褪色のない素材による媒体が提案されているか。 ・県の広報に相応しい品位があり、かつ来館者の興味を幅広く喚起することができる内容か。	10	
合計		100	

※総合点の最低基準点は6割5分(100点×0.65=65点)とする。